

# 令和元年度地震・津波防災訓練 (内閣府・愛媛県西予市)

## 実施報告書 (概要版)

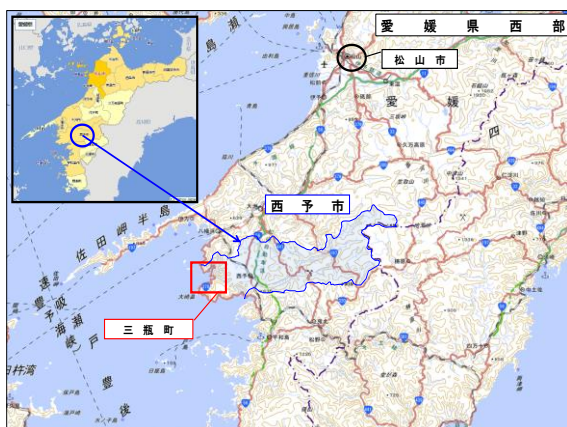
### 愛媛県西予市について

西予市は、愛媛県の南予地方に位置し、海拔0mから1,400mの海・里・山の豊かな自然に恵まれたまちで、平成25年9月に市全域が「四国西予ジオパーク」として認定されています。

平成30年7月豪雨では、かつてないほどの河川氾濫や土砂災害が発生し、西予市内では6人（関連死1人を含む）の尊い命が失われました。

西予市では、令和元年度を復興元年と位置付け、3月には「西予市復興まちづくり計画」を策定し、市民の日常を早急に取り戻す復旧作業を迅速に進めるとともに、あらゆる災害から市民の生命と財産を守る、安心・安全なまちづくりに取り組んでいるところです。

また、平成30年度から3年間の予定で、南海トラフ巨大地震による大規模災害の可能性に対処するため、巨大津波被害が想定されている宇和海沿岸5市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、伊方町、愛南町）と愛媛県、愛媛大学、東京大学と共同で、事前復興デザイン研究に取り組んでいます。



出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：「令和元年11月24日、午前8時00分に、南海トラフを震源とする巨大地震が発生し、西予市で最大震度7を記録、1m以上の津波が48分後以降に押し寄せる見込みである。」との想定で、西予市は直ちに住民に対し津波からの避難を呼びかけた。
- 実施日時：令和元年11月24日（日）08：00～12：00
- 主催：内閣府、西予市
- 参加者数：約2,000名
- 参加機関：自主防災会、警察、消防、自衛隊、海上保安庁、西予市消防団、中学校、西予市防災士連絡協議会、社会福祉法人、市医師会、日本赤十字社愛媛県支部、県協定締結企業、愛媛県

## 訓練の評価

訓練当日は、地域住民、中学生、関係機関を合わせた約2,000名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、地域住民へのアンケートの結果

- なかなか現実的に考えることができず、まだ他人事のような考えがある。しかし、色々な研修会に参加することで、危機意識が高くなっていることも事実。非常時の対応や持出品について、しっかり準備したい。

という評価の一方で

- 災害はいつ起こるか分からないとは思いますが、開催時期が悪かった（みかんの収穫等で忙しい）。もっと多くの方の参加があれば良いと思った。
- 西予市は災害・避難カードを作成しているのか？（カードの事は知っているが、作っていない。）作成しているなら、市民全員に配布してほしい。
- プライバシー保護の観点からは難しいが、災害弱者の把握を文書等できちんとできないものか。身近にいる災害弱者、一人で避難できない人が意外に知られていない、地域で共有できていないように思う。

等の意見も出された。

西予市職員からは、

- 色々な方にご協力いただき、良い訓練が実施できた。今後もこの繋がりを大事にしていきたい。
- 行動計画に基づいて職員全員の訓練も実施すれば、横断的な連携が出来るとの所見が出された。

中学生は、市防災士連絡協議会指導のもと、地域住民と協同して緊急避難場所へ避難（車椅子、リヤカーによる避難、担架による搬送を体験）する形で避難訓練に参加しており、将来の防災の担い手育成の一助となった。

高齢化が進む地域では、中学生は支援者として大きな存在であり、引き続き自主防災会と中学校等が連携した訓練を実施することが必要である。

## 訓練内容

### 10月30日19:00～20:00 訓練説明会・防災講習会（災害・避難カードの説明等）

西予市三瓶町の各自主防災会長（全19地区）を対象に、訓練説明会・防災講習会（災害・避難カードの作成に係る説明会）を実施した。参加者は終始熱心に受講していた。

#### ▼訓練説明会・防災講習会（災害・避難カードの説明等）



### 11月24日08:00～ シェイクアウト訓練及び津波避難訓練

西予市三瓶町全域を対象に、住民等が各々の場所で一斉に安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。

中学生による車椅子や担架等による要配慮者支援体験を含めた、津波指定緊急避難場所への避難を実施した。

#### ▼シェイクアウト訓練 三瓶中学校



#### ▼緊急避難場所への避難訓練 三瓶中学校生徒 6区有網代住民



### 11月24日08:30～11:00 展示訓練等

避難訓練終了後、三瓶中学校、三瓶港等において、関係機関等による展示訓練や住民参加による体験型の訓練等が実施され、自助・共助による被害拡大防止の意識の高揚を図ることができた。

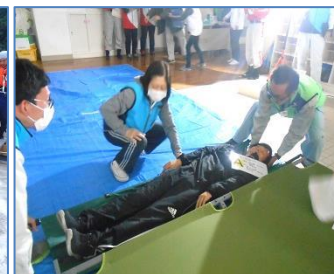
#### ▼三瓶中学校体育館 応急救護講習



#### ▼三瓶港 孤立住民海上輸送訓練



#### ▼旧周木小学校 医療救護所設置訓練



### 11月24日11:00～11:40 防災講習会、11:50～12:00 物資配給訓練

展示訓練等終了後、三瓶中学校体育館において、内閣府による防災講習会を実施した。

講習会終了後、救援物資に見立てた啓発用防災用品を配給する物資配給訓練を実施した。

#### ▼内閣府による防災講習会 最近の災害対策の教訓 地区防災計画の重要性



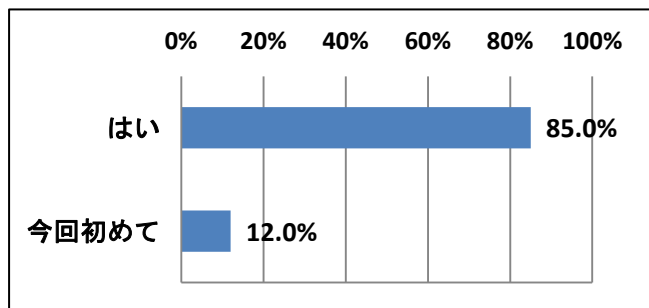
#### ▼物資配給訓練



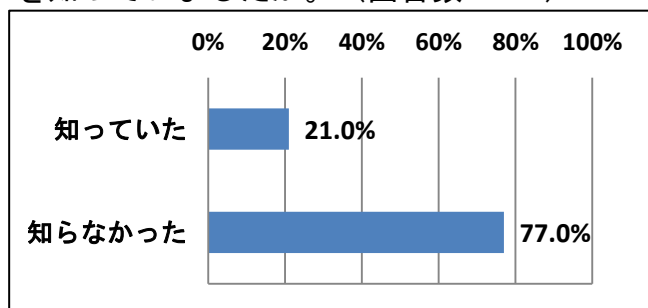
## アンケート結果

地域住民の方々等の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（アンケート回収数：180枚）

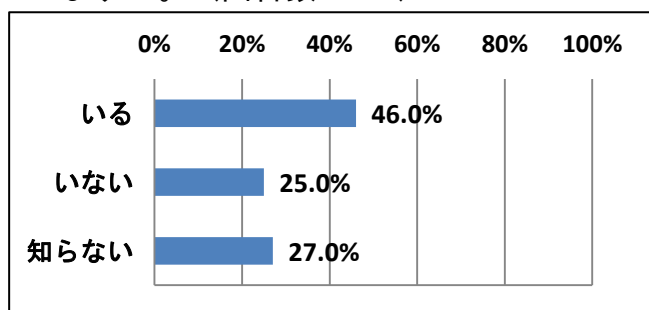
西予市が作成した防災マップなどを見たことがありますか。（回答数=175）



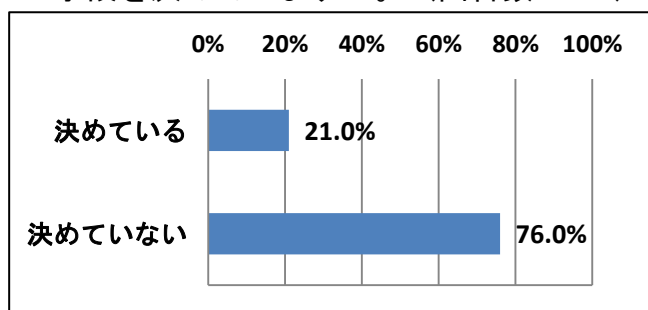
11月5日は「津波防災の日」であることを知っていましたか。（回答数=175）



あなたの周辺には、避難行動要支援者がいますか。（回答数=176）



災害時に一緒にいない家族との連絡手段を決めていますか。（回答数=173）



### 【自由回答欄】

（良好な点）

- 本人の防災意識を強くする必要性を感じることができた。
- 津波避難訓練を実施してみて、11月5日が「津波防災の日」とは知らなかったし、西予市防災マップやハザードマップ等もきちんと確認したいと思った。

（改善を要する点）

- 住民一人一人の危機意識が高まるような訓練を工夫していきたい。
- 防災訓練を定期的に、そこまで仰々しくなくとも、もっと回数を増やせば、災害時に的確な判断ができるようになると思う。財政的には難しくとも、もっと増やしていくことが、これからの未来のためにできることだと思う。
- 津波の被害にあったことのない人は、どのようなイメージで取り組めばいいかわからないし、津波の本当の怖さを知らないと思うので、本当に津波が来た時に役に立つかはわからない。
- 4区から避難場所の公民館は遠いので、早めに中学校体育館を開放されたい。
- 三瓶南（蔵貫方面）地区は海岸線一本の道路しかなく、災害時の避難路として蔵貫から三瓶地区（安土方面）までのトンネルを整備すべき。
- 自分が住んでいる町は、海や川が近い場所に家が建っているので、津波が来た時は、早く逃げないといけないと思った。